

■アフターサービスについて

保証書について

- 保証書は必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間

- お買い上げの日より6ヶ月間です。

修理を依頼される時

- サービスを依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき再度ご点検の上、なお異常がある場合にはお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 保証期間中は、お買い上げの販売店まで保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の記載内容により修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 故障その他、お困りのときはお買い上げの販売店、または下記へお問い合わせください。

株式会社 カクタス

本社	東京都文京区千石4-37-4 千石コートハウス1F	電話(03)5940-3671 FAX(03)5940-3679	〒112-0011
福岡営業所	福岡市博多区博多駅南2-11-11	電話(092)473-8366 FAX(092)473-8367	〒812-0016
大阪営業所	大阪市西区立売堀1-5-8	電話(06)6541-1266 FAX(06)6541-6795	〒550-0012
名古屋営業所	名古屋市西区幅下1-15-16	電話(052)562-1771 FAX(052)561-1637	〒451-0041
札幌営業所	札幌市中央区南五条西9丁目	電話(011)521-4206 FAX(011)521-4212	〒064-0805
川越センター	埼玉県川越市的場新町21-2 日油技研工業(株)川越工場内	電話(049)237-5366 FAX(049)237-5367	〒350-1107

CACTUS

手動油圧ポンプ

取扱説明書

MODEL

SP-2

CP-3

お買い上げありがとうございました
よくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
その後、大切に保管してください。

カクタス手動油圧ポンプをご採用いただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の際には、取扱説明書をよくお読みいただき指示に従って正しく使用してください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず大切に保管してください。

目次

・安全上のご注意	1～2
・名称・寸法	3
・仕様	3
・操作前の点検・確認	4
・操作方法	4
・注意事項	4
・圧力調整	5
・お手入・保管	5
・オイルの交換・補充	5
・オイルの取扱い	5
・アフターサービスについて	6

(ご注意)

改良のためお断りなく仕様変更することがありますのでご了承ください。

■安全上のご注意

ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分しておりますが、誤った取扱いをしたときに使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を「△警告」、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を「△注意」として記載しています。なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△ 警告

1 正しく使用してください。

- 取扱説明書に指定された用途以外には使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。
- 能力を超えた無理な使用は事故の恐れがあります。
- 取扱説明書および弊社カタログに記載されているラムや工具以外のものは使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

2 保護メガネを使用してください。

- 作業中は保護メガネ・安全帽などを着用し、安全を確保してください。

3 作業場の周囲状況を考慮してください。

- 溶接や火気を使用している付近の場所では使用しないでください。オイルを使用しているために火災や焼失の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の恐れがあります。

4 指定圧力のラムや工具に使用してください。

- SP-2型 70MPa、CP-3型 49MPa以外のラムや工具に接続して使用すると、事故やけがの恐れがあります。

5 油圧ホースは手荒に取扱わないでください。

- 油圧ホースを持って製品を運んだり、傷をつけたり、極端に折り曲げないように取扱ってください。損傷するとオイルが高圧力で吹き出し、事故やけがの恐れがあります。

6 活線作業には使用しないでください。

- 感電の恐れがあります。

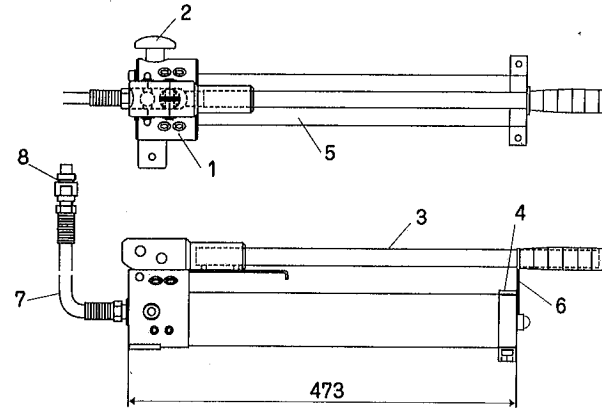
⚠ 注意

- 1 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所は、事故の恐れがあります。
- 2 作業以外、作業場へ近づけないでください。
 - 事故やけがの恐れがあります。
- 3 きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具を着用したままで作業をしないでください。ラムや工具に引き込まれたり、はさまれる恐れがあります。
- 4 無理な姿勢で作業しないでください。
 - 常に手元や足元をしっかりと確保し、バランスを保つようにして使用してください。
 - 転倒してけがの恐れがあります。
- 5 平らな水平場所で使用してください。
 - オイルの吐出不良や操作中転倒して、けがの恐れがあります。
- 6 手荒に扱ったり落としたりしないでください。
 - 不調の原因にもなり場合においては破損事故の恐れがあります。
 - 高所作業のときは下に人がいないかよく確認してください。製品や材料を落したとき事故の恐れがあります。
- 7 異常が起ったら直ちに作業を中止してください。
 - 作業中、製品の調子が悪かったり、異常に気がついたときは、作業を中止し点検修理に出してください。
- 8 製品の修理は専門店で依頼してください。
 - 修理は必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。

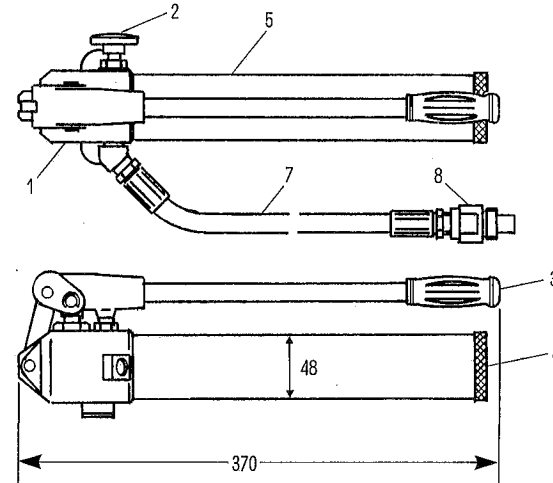
お願い

- 製品に貼ってある警告ラベルを汚したり、はがさないでください。
- 取扱説明書を紛失したり、警告ラベルの表示が読みにくくなったり、はがれた場合は、弊社または販売店に連絡して再度入手してください。

■名称・寸法 ◎ SP-2型



◎ CP-3型



品番	品名
1	ポンプ部
2	戻しバルブ
3	作動ハンドル
4	エア栓(給油口)
5	オイルタンク
6	フック
7	油圧ホース
8	オスカップラー

■仕様

型式	設定圧力 [MPa]	吐出量(レバーストローク)		タンク油量 (ml)	重量 (kg)	標準ホース (m)
		低圧(ml)	高圧(ml)			
SP-2	70	11	2.3	950	7	2.0
CP-3	49	—	1.0	250	4	0.8

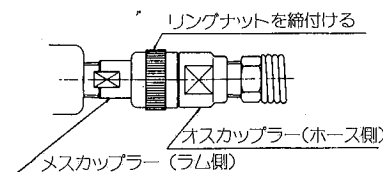
■操作前の点検・確認

- 油圧ホースの外観部に損傷や変形等の異常がないか点検・確認してください。ある場合には交換してください。

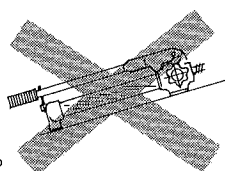
損傷や変形などの異常があると操作中、オイルが高圧力で吹き出し事故やけがの恐れがあります。

■操作方法

1. ラム（工具）側のメスカップラーと手動油圧ポンプ側の油圧ホース先端のオスカップラーを連結し、手でリングナットを確実に締付けてください。



カップラーの締付が不十分だと製品を作動したとき、ラムが出たまま戻らない原因になります。



2. 平らで水平な場所に設置してください。油圧ホース側を上にとするとオイルが吐出しない場合があります。（CP-3型はどの位置で使用されてもオイルが吐出します。）
3. オイルタンクに取付いているエア栓（給油口）を1～2回ゆるめます。製品を作動させたときオイルが吐出しない場合があります。（CP-3型はエア栓の開閉は不要です）
4. 戻しバルブを閉じ、作動ハンドルを上下に作動させてください。ラム（工具）が前進します。作動を中止すればラム（工具）は、その位置で停止しています。再び作動すれば前進します。
5. 作業が完了したら戻しバルブを開きラム（工具）を戻します。
6. 作業終了後はエア栓（給油口）を閉じ、作動ハンドルにフックを掛け固定します。（CP-3型は不要です。）

■注意事項

- 他社のメスカップラー（ラム側）とは合いません。カクタスメスカップラーに付け換えて使用してください。
- カップラーの締付けが不十分な場合、ラム（工具）が戻らなくなります。確実に締付けてください。
- 油圧ホースは極端に折ったり曲げたり、また傷等を付けないように取扱ってください。損傷を来すとオイルが高圧力で吹き出し危険です。変形・損傷がある場合は交換してください。
- 製品を手荒に扱ったり、落したりして過度のショックを与えると不調の原因になるばかりではなく損傷事故の恐れがあります。

■圧力調整

SP-2型は圧力70MPaに調整されていますが、圧力が低下した場合や圧力調整が必要な場合には、お買い上げの販売店、または弊社へお問い合わせください。

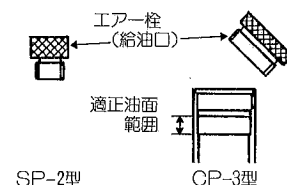
■お手入・保管

- 製品は作業後きれいに布でふき油圧ホースを製品に巻き付けて湿気、ほこり、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- カップラーをはずした場合はおたがいのカップラーにカップラー保護キャップをかぶせごみの混入を防止してください。

■オイルの交換・補充

オイルは一定期間（12ヶ月）毎に交換することをお奨めします。製品にはその構造に適した専用オイルをご使用ください。オイルを交換、補充する場合は次の順序に従ってください。

1. 手動油圧ポンプの戻しバルブを開き、ラム内のオイルをポンプに戻します。
2. エア栓（給油口）をはずしゲージラインの範囲内にオイルがあるか調べます。
3. オイルが汚れていたり、少なくなっているときは、専用オイルをゲージラインまで交換・補充してください。



○給油の際、ブレーキオイル等異種のオイルを混合したりするとシール材を溶すので使用しないでください。

○オイルは製品をお求めになった販売店へお問い合わせください。

■オイルの取扱い（専用オイル）

●注意事項

- 目に入ると炎症を起こすことがあります。取扱うときは、保護メガネを使用するなど目に入らないようにしてください。
- 皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取扱うときには、保護手袋を使用するなど皮膚に触れないようにしてください。
- 飲まないでください。（飲み込むと下痢、おうとします。）
- 子供の手の届かない所に置いてください。

●応急処置

- 目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、水と石鹼で十分に洗ってください。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受けてください。

●廃油の処理

- 処理方法は法令で義務づけられています。法令に従い適正に処理してください。